

機械器具 39 医療用鉗子
一般医療機器 手術用骨鉗子 32853000

手術用骨鉗子

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

代表的写真



2. 原材料: ステンレス鋼

3. 原理

ハンドルを手で握ることにより、先端を閉じた部分の組織が締め付けられ、切断される。

【使用目的、効能又は効果】

軟骨又は骨などの組織を締め付けて切断することにより除去することを目的とした外科用器具をいう。プライヤ型、ピストルグリップ型及び刃が転心の先まで及ぶピストルグリップ型等様々なデザインのものがある。

【品目仕様等】

先端の刃部にこぼれや欠損がないこと。刃を閉じたとき、噛み合わせに隙間がないことを確認する。

【操作方法又は使用方法等】

- 1) 使用前に、必ず洗浄・滅菌する。134℃/5分の高圧蒸気滅菌条件を推奨する。
- 2) ハンドルを親指と中指等を用いて握ると刃が閉じ、対象物を切断できる。

*【使用上の注意】

1. 禁忌・禁止
 - 1) 使用目的以外に使用しないこと。
 - 2) 本品の二次的加工をしないこと。
2. 重要な基本的注意
本品をクロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)患者、又はその疑いのある患者に使用した場合は、クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)に関する国内規制及びガイドライン等を遵守すること。
3. その他の注意
器具を保護する保守油が塗布されているので、適切な油除去を行ってから滅菌処理を行うこと[油が付着したまま高圧蒸気滅菌を行うと、器具が変色する可能性がある]。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

- 1) 清潔で良好な乾燥状態を保てる場所で保管する。
- 2) 滅菌した状態で保管する場合、滅菌有効期限を管理する。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに洗浄し、消毒する。
- 2) 汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、その適正濃度と取扱方法を守る。中性洗剤を推奨する。
- 3) 超音波洗浄装置・ウォッシャー・ディスインフェクター等の洗浄装置で洗浄する場合、可動部分は開放し、汚れが落ちやすい状態でバスケット等に収納して処理する。
- 4) 金属タワシ、クレンザー(磨き粉)等は、器具表面を損傷するので使用を避ける。
- 5) 仕上げすぎには、精製水・脱イオン水・濾過水等の使用を推奨する。
- 6) 洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥する。
- 7) 手術器具用潤滑剤の塗布を推奨する[可動部の防錆のため]。
- 8) 滅菌前、使用前に汚れ・破損・可動部の動き等を点検する。

【包装】

1本/袋、1本/箱

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者: 村中医療器株式会社

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野二丁目8番2号
TEL 0725-53-5546

製造業者: レブストック インストルメンツ社 ドイツ
REBSTOCK INSTRUMENTS GmbH